

## みずほCustomer Desk Report 2018/03/14号 (As of 2018/03/13)

国際為替部 為替営業第二チーム

### 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	106.37 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.29	1.2338	131.17	1.3907	0.7871
SYD-NY High	107.30	1.2407	132.43	1.3994	0.7898
SYD-NY Low	106.25	1.2315	131.13	1.3875	0.7846
NY 5:00 PM	106.55	1.2392	132.00	1.3967	0.7856
NY DOW	25,007.03	▲ 171.58	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	7,511.01	▲ 77.31	日本10年債	0.0500	1.00bp
S&P	2,765.31	▲ 17.71	米国2年債	2.2559	▲0.40bp
日経平均	21,968.10	144.07	米国5年債	2.6207	▲ 1.35bp
TOPIX	1,751.03	9.73	米国10年債	2.8435	▲ 2.19bp
ソコ日経先物	21,650	25.00	独10年債	0.6165	▲ 1.50bp
ロンドンFT	7,138.78	▲ 75.98	英10年債	1.4865	▲ 0.90bp
DAX	12,221.03	▲ 197.36	豪10年債	2.8120	▲ 0.10bp
ハンセン指数	31,601.45	7.12	USDJPY 1M Vol	8.00	0.05%
上海総合	3,310.24	▲ 16.46	USDJPY 3M Vol	8.15	0.10%
NY金	1,327.10	6.30	USDJPY 6M Vol	8.40	▲ 0.00%
WTI	60.71	▲ 0.65	USDJPY 1M 25RR	-0.90	Yen Call Over
CRB指数	194.28	▲ 0.25	EURJPY 3M Vol	8.15	▲ 0.05%
ドルインデックス	89.66	▲ 0.23	EURJPY 6M Vol	8.58	▲ 0.05%

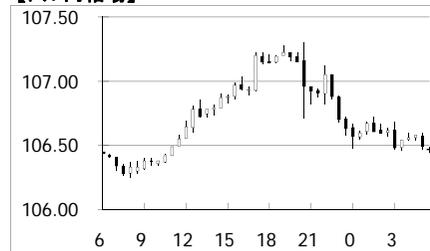
### 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月13日	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	2月 0.2%/2.2%	0.2%/2.2%
	21:30	米 CPIコア(前月比/前年比)	2月 0.2%/1.8%	0.2%/1.8%
		米 トランプ大統領、ティラーソン国務長官を解任、ポンペオCIA長官を後任として指名		
		加 ポロズ中銀総裁「先週利上げしなかったのは現在の状況に満足のため」		

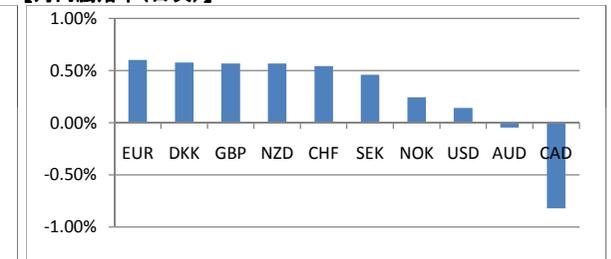
### 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月14日	8:50	日 日銀議事要旨(1/22-23開催分)	-	-
	16:00	独 CPI(前月比/前年比)	2月 0.5%/1.4%	0.5%/1.4%
	17:00	欧 ドラギECB総裁講演	-	-
	21:30	米 小売売上高(前月比)	2月 0.3%	-0.3%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	2月 0.1%/2.8%	0.4%/2.7%

### 【ドル円相場】



### 【対円騰落率(日次)】



### 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.00-107.00	1.2350-1.2450	131.00-132.00

### 【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場は、米金利の上昇でドル円は107円台へ上昇していたものの、米CPIは市場予想通りで、トランプ米大統領がティラーソン国務長官を解任、中国に対して知的侵害で中国制裁方針で関税上げや投資制限検討との報道もあり、ドル売りの流れとなり、106円半ば割れまで下落。本日は、トランプ米大統領が今週さらに重要な人員交代を計画とコメントしていることもあり、米政治不安は依然燦の中、ドル円は上値重い展開になると予想する。

東京	東京時間のドル円は106.29レベルでオープン。106円台前半で動きに乏しく推移していたが、米CPIの発表を控え警戒感が高まったためか、次第にドルが強含み始め、プラス圏に浮上していた日経平均が上昇幅を拡大したことも手伝い、円は全面安の展開に。ドル円は上値を伸ばして一時106.85をつけた後、106.79レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.79レベルでオープン。前日、米下院情報委員会の共和党議員が、ロシア疑惑問題について、結託した証拠は見つからなかったと結論し、調査の打ち切りを発表したことからも、ドル買い戻しが強まる中、107.28まで上昇、107.19レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.2334レベルでオープン。米2月CPI発表を前に1.2351まで上昇し、1.2337レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外時間のドル円は107.19レベルでNYオープン。米2月CPI発表直後に高値107.30をつけたが、ヘッドライン、コア共に前月から減速していたことから小緩むと、トランプ大統領、ティラーソン国務長官を解任、後任にポンペオCIA長官を指名」とのヘッドラインを受けて106.71まで急落。その後、ポロズ・カナ中銀総裁が講演で今後の利上げに対し慎重なスタンスを示したことがハ派と受け止められ、USD/CADの上昇につれてドル買いが強まり、ドル円は一旦107.12まで上昇。しかし、ティラーソン国務長官だけでなく、ゴールドスタイン米副次官も解任されたことや、米紙の「ホワイトハウスは今週さらに主要な人員交代を想定している」とのヘッドラインを受け、米貿易政策を中心に先行き不透明感が一段と高まる中、リスク回避姿勢が強まり、米株、米金利と共にドル円も106.47まで下落。一旦は106.72まで回復したが、米政治メディアの「ライトハイザー米通商代表部(USTR)代表が年間300億ドル相当の中国からの輸入に賦課する関税案を提案し、トランプ大統領はそれを上回る規模を求めた。数週間以内に正式発表される見込み」との報道を受け、安値106.46まで下落し、106.55レベルでクロス。一方、1.2337レベルでNYオープンしたユーロドルは、指標発表直後に1.2332まで下落する局面も見られたが、突然のティラーソン国務長官解任劇を受けたドル安に1.2407まで上昇し、1.2392レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山下・田家